

主要施策名:(4)男女共同参画社会の推進

事務事業本数:3

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業 コード	事務事業	所管課
⑥公平で誇りの 持てる社会づくり	(4)男女共同参 画社会の推進	(1)男女共同参画社 会の形成	641-1	男女共同参画啓発事業	人権啓発課
			641-2	男女共同参画計画運用事業	人権啓発課
			641-3	男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業	人権啓発課



《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 男女共同参画フォーラム開催事業	市が主催する男女共同参加フォーラム講演会の開催	講演会開催回数	回	1	1	1	1
② 男女共同参画啓発事業	市が主催及び共催する啓発講座の開催	啓発講座開催回数	回	9	9	11	11
③ 男女共同参画推進研修事業	市が主催する研修会の開催	研修会開催回数	回	0	0	0	0

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象( 市民 )	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
		67577		67242		66850		66319	
	投入コスト合計(千円)	3,976		3,578		3,812		4,439	
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0		0		0		0	
	コスト評価(対前年比)	***		110.58%	(↑)	93.32%	(↓)	85.19%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 男女共同参画関連事業参加人数	細事業①、②、③の参加者総数	人	535	335	320	500
			329	303	487	
2						

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input checked="" type="checkbox"/>	市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/>	市が事業へ関与する必要が薄れている	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
有効性 [23]	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
	<input type="checkbox"/>	コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	
公平性	<input type="checkbox"/>	直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公正性	<input type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	公正性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標を設定している	
[24]	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の目標値を達成した	[24]
	<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/>	手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
[25]	<input type="checkbox"/>	法定事務であり成果は求めにくい	[25]
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/>	事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
[26]	<input type="checkbox"/>	国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	[26]
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 市の啓発事業であるため )	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	成果指数では、事業全体では目標値を上回った。講座等においては、参加者のニーズに応えられるよう曜日や時間帯の組み合わせと、周知の方法も工夫した。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	講座等においては、参加者のニーズに応えられるよう曜日や時間帯の組み合わせと、周知の方法も工夫した。フォーラムにおいては、周知の見直しを図り、玉名市ホームページ・広報誌、フェイスブックのみならずポスター・チラシの配布範囲を広げ、告知手段の有効活用を図る。また、国の法制度等を、本庁職員に向け研修等を行い啓発に努める。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)		
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	市民の男女共同参画社会形成の意識向上のため、講演会や啓発講座を実施。今後も啓発のための情報発信を継続して実施したい。	評価責任者 西村光太郎
-------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 男女共同参画計画進行管理事業	年度ごとの各課事業の実施状況を検証	進行管理の対象となる項目数	件	384	435	437	437
② 男女共同参画審議会業務	外部委員による諮問機関として調査審議し施策の推進を図る	審議会の開催回数	回	3	3	3	3
③ 男女共同参画社会行政推進委員会業務		委員会の開催回数	回	1	2	2	3

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象( 市民 )	67577	67242	66850	66319			
投入コスト合計(千円)	5,146	6,915	2,062	2,086				
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0				
コスト評価(対前年比)	***	74.05%	( ↓ )	333.35%	( ↑ )	98.09%	( ↓ )	

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 市役所における審議会等女性登用率	各課所管の審議会等の女性委員の割合を計算	%	35	35	35	35
2		%	21.8	22.8	23.2	

\* 成果未達成時の理由 審議会等の登用に関しては、各団体の代表等が多く、その代表者には男性が多い傾向にあるため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い a
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	平成30年度から第3次計画が始まった。各課において1年ごとに具体的取組みの計画内容、実績検証を強化し、次年度に反映させていくことで、5年後に目標達成できるよう推進した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	第3次計画の実行性が高いものとなるよう、1年毎に各課の具体的取組みについて計画し推進する。また、女性の登用についても推進を図っていく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 【27】	平成30年度から第3次計画を開始、男女共同参画社会の形成は、人が集まり、活気が溢れる社会(地域活性化)に繋がるため、全庁的に計画に沿った政策を実施しなければならない。	評価責任者 西村光太郎
-------------------	---	----------------





《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 地域リーダー育成事業募集業務	国内派遣研修参加者の募集	募集回数	回	1	1	1	1
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
	対象(参加者)	1	1	1	1
投入コスト合計(千円)	216	118	1,310	1,317	
対象1単位あたりのコスト(千円)	216	118	1,310	1,317	
コスト評価(対前年比)	***	183.05%	(↑)	9.01%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 地域リーダー育成者数	研修に参加し育成された地域リーダーの累計数	人	21	21	22	23
2			20	21	22	

\* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input checked="" type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 受益者負担はなじまない ) [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	地域リーダー育成の効果については、継続検討中。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	地域リーダー育成事業は地域における男女共同参画社会づくりに働きかけるための身近な手段である。今後は研修後の啓発で広く活動できるよう支援していく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	平成30年度は地域リーダー育成事業に市職1名を派遣、今後のリーダーとしての活躍を期待する。今後も地域のリーダー育成のため事業を継続したい。	評価責任者 西村光太郎
-------------------	---	----------------